

# 中根式速記法

# はしがき

この資料は、中根速記学校において昭和44年4月入学生に池田正一先生が指導した法則体系です。

中根速記学校の法則体系は卒業生以外には余り知られていないようです。私が本科生時代のノートをまとめてみました。

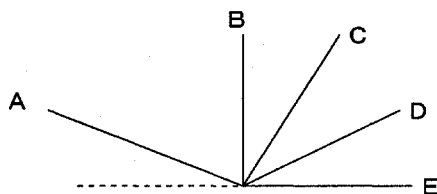
私自身は、この法則体系をすべて使用しているわけではありません。

中根式では該当しない省略法については、私自身が法則名を整理したものがああります。法則名の最後に（※）印をつけました。

# 目 次

1. 基本線
2. 清音
3. ゆすり筆
4. 濁音・半濁音
5. 繰り返し
6. 加點字
7. 詰音
8. 拗短音
9. 長音
10. 拗長音
11. インツチクキ法
12. 助詞
13. 最小線
14. 口語助動詞 (※)
15. 指示代名詞 (※)
16. 常用語 (※)
17. 上段
18. 下段
19. 接觸動詞
20. 語尾利用法 (※)
21. オッオイ
22. エ列イ音省略
23. 加點法
24. 四字詰音一線化
25. ウ・ス・ヌ・ム・ル省略
26. 最大線
27. 符省法
28. 交差・平行法
29. 節音法
30. 冠上法
31. 抄下法
32. ヒモカギ法
33. 極大線
34. 漢音省略法
35. 同音平行法
36. 加點インツクキ法
37. 後句省略法
38. 數詞

# 1. 基本線



A = 30度

B = 90度

C = 60度

D = 30度

E = 0度

## 速記文字の長さ

基本線とは短線及び長線のことを言う。

短線 = 4 ミリ

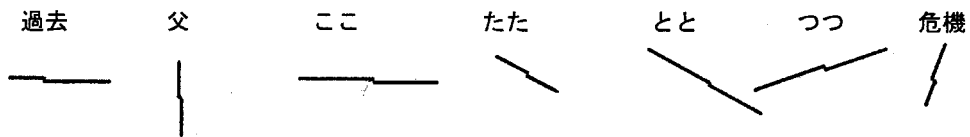
長線 = 8 ミリ

## 2. 清音

ア	イ	ウ	エ	オ
ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
カ	キ	ク	ケ	コ
一	/	丨	/	一
サ	シ	ス	セ	ソ
ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
タ	チ	ツ	テ	ト
ノ	丨	/	丨	ノ
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
マ	ミ	ム	メ	モ
ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
ヤ		ユ		ヨ
ノ		ノ		ノ
ラ	リ	ル	レ	ロ
ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
ワ				
ノ				

### 3. ゆすり筆

同方向の直線が続くときは継ぎ目を少しずらして書く。



## 4. 濁音・半濁音

濁音は濃線にして書くがグ・ヅ＝ズ・ブは加点。

ジ＝ヂ    ツ＝ズ

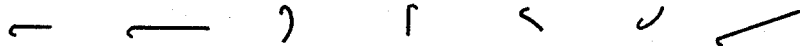
半濁音は半円をつける。

ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ
—	/	・	/	—
ザ	ジ		ゼ	ゾ
ゝ	ゝ		ゝ	ゝ
ダ		ヅ	デ	ド
ゝ		・ゝ	ゝ	ゝ
バ	ビ	ブ	ベ	ボ
ゝ	ゝ	ゝ	ゝ	ゝ
パ	ピ	プ	ペ	ポ
ゝ	ゝ	ゝ	ゝ	ゝ

## 5. 繰り返し

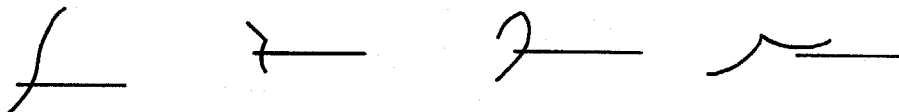
1音繰り返し……小丸カギをつける。

かか      ここ      はは      ちち      ただ      ああ      つつ



2音以上の繰り返し……0度の直線を前符号の中部に交差する。

我々      たびたび      いろいろ      おのおの



しばしば      折々      繰り返し繰り返し





## 6. 加點字

ウ・ス・ヌ・ム・ルの加點字が続くときは、符号と符号の中央に1つだけ点を打つ。

する



留守番



眠る



うむ



ぬる



進む



娘



## 7. 詰音

前符号の尾部に後符号の頭部を交差する。

交差できないときは、平行にする。

速記

結果

脚気

やった

国家

とった

## 8. 拗短音

大力ギを逆記する。

キャ

㇏

キュ

㇏

キョ

㇏

シャ

㇏

シュ

㇏

ショ

㇏

チャ

㇏

チュ

㇏

チョ

㇏

ニャ

㇏

ニュ

㇏

ニョ

㇏

ヒャ

㇏

ヒュ

㇏

ヒョ

㇏

ミャ

㇏

ミュ

㇏

ミョ

㇏

リャ

㇏

リュ

㇏

リョ

㇏

ピャ

㇏

ピュ

㇏

ピョ

㇏

## 9. 長音

ア列……清音＋ア

イ・エ列……大円逆記

ウ・オ列……大カギ逆記

アー	イー	ウー	エー	オー
㇏	㇏	㇏	㇏	㇏
カー	キー	クー	ケー	コー
㇏	㇏	㇏	㇏	㇏
サー	シー	スー	セー	ソー
㇏	㇏	㇏	㇏	㇏
ター	チー	ツー	テー	トー
㇏	㇏	㇏	㇏	㇏
ナー	ニー	ヌー	ネー	ノー
㇏	㇏	㇏	㇏	㇏
ハー	ヒー	フー	ヘー	ホー
㇏	㇏	㇏	㇏	㇏
マー	ミー	ムー	メー	モー
㇏	㇏	㇏	㇏	㇏
ヤー		ユー		ヨー
㇏		㇏		㇏
ラー	リー	ルー	レー	ロー
㇏	㇏	㇏	㇏	㇏
ワー				
㇏				

## 10. 拗長音

キヤー	キュー	キョー
㇏	㇏	㇏

シャー	シュー	ショー
㇏	㇏	㇏

チャー	チュー	チョー
㇏	㇏	㇏

ナヤー	ニュー	ニョー
㇏	㇏	㇏

ヒヤー	ヒュー	ヒョー
㇏	㇏	㇏

ミヤー	ミュー	ミョー
㇏	㇏	㇏

リヤー	リュー	リョー
㇏	㇏	㇏

ピヤー	ピュー	ピョー
㇏	㇏	㇏

# 11. インツクキ法

インツクキ法は、中根式における代表的な省略法である。

2音目

イ……大 円

ン……小 円

ツ……小 椅 円

チ……結び小円

ク……角 カ ギ

キ……結び大円

3音目

大 円

小 円

尾部空間

加点小円

ツノ出し

尾部交差

[イ]

[ン]

[ツ]

[チ]

[ク]

[キ]

最悪

ミルク

必要

実現

保つ

加熱

大切

昨年

もちろん

あちら

フランス

記念

多読

独占

にぎやか

組織

問題

拗音+ク

シュク	ショク	キョク	チョク	リョク		
く	く	く	く	く		
キyak	シyak	チャク	ニyak	ヒyak	ミyak	リyak
く	く	く	く	く	く	く

曲線

宿題

積極

宿直

省略

詰音+インツチクキ

詰音を省略してもわかるものはインツチクキ法をそのまま書く。

復活

密接

発達

発展

欠席

全く

物質

出発

結婚

## 12. 助詞

助詞符号は前の速記文字に順記する。

は	か	を	に	も	で	が	た、した
小円	結び大円	右巻き横円	左巻き横円	結び小横円	結び大横円	チ・カの子	タの子
---○	---○	---∪	---∩	---∪	---∪	---∪	---∪

す・し	の	て	と・ど	ず・せず
大円	大カギ	大横円	フ・キの方向 にはねる	フの子
---○	---∪	---∪	---∪	---∪

とも	とは	との	には	にも	ては	ても	とに	とを	もと
---∪	---∪	---∪	---∪	---∪	---∪	---∪	---∪	---∪	---∪
をば	をも	とか	のは	ての	とて	とで	ともに	もとに	もともと
---∪	---∪	---∪	---∪	---∪	---∪	---∪	---∪	---∪	---∪
とす	すら	とともに	ほど	ほども	ほどの	ほどは			
---∪	---∪	---∪	---∪	---∪	---∪	---∪			

「ホ」の位置 ---●---



## 13. 最小線

1. ○テイタ、○テイテ……助詞のテがあるときにのみ使用。

見ていた      見ていて

㇏      ㇏

2. コソ、スラ、サエ……尾部空間

コソ      スラ      サエ

---、      ---、      ---、

これこそ      これすら      これさえ

㇏      ㇏      ㇏

3. ○ノゴトク、ゴトキ、ゴトシ……助詞のノがあるときにのみ使用。

かくのごとき      かくのごとく      かくのごとし

㇏      ㇏      ㇏

4. ○スベキ、スベク、スベシ……尾部交差。

進行すべき      進行すべく      進行すべし

㇏      ㇏      ㇏

5. (シ)ナカッタ、デハナカッタ

来なかった      そうではなかった

→      ㇏

## 14. 口語助動詞

あります ありますが ありますから ありません ありますとか ありましょう

・      ・      ・      ・      ①      ㇿ

ありますし ありますと ありまする ありまして ありますか ありますとも

し      と      り      して      か      とも

ありました ありましたか ありましたから ありましたとか ありましたし  
「アリマシタ」の変化形は上記と同形で下段に書く。

・      ・      ・      ①      し

ございます ございますが ございますから ございせん ございますとか

ー      ー      ー      ら      ー

ございましょう ございますし ございますと ございする ございまして

て      ち      ー      して      ー

ございますか ございますとも ございました  
「ゴザイマシタ」の変化形は上記と同形で下段に書く。

か      とも

います いますか いますと いますから いません いますとか いましょう

く      か      と      から      せん      ー      ー

いますし いまする いました いまして いますとも いますか いましたが

し      る      ー      して      とも      か      ー

いましてか いましてとか

か      ー

イマス→上段にヒの最小線

「イマス、オリマス」は2種の書き方あり。

おります おりますが おりますから おりません おりますとか おりましょう

ゝ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

おりますし おりますと おりまする おりまして おりますとも おりました

ゝ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

おりましたか おりましたが おりですか おりましたから おりましたとか

㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

おりましたでしょう おりましたし おりましたる

オリマス→上段にハの最小線

㇏ ㇏ ㇏

です ですが ですから ですか ですとか でしょう ですし でした

ゝ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

ある あるが あるから あるなら あるか あるとか あるでしょう あるし

㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

あれば あると あって あった あり あるんです あるんだ あるんだから

㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

あるんでしょう あるんですし あるんですが あるんでして あるんでした

㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

あったり あったんです あったろう あらん あらない

㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

おる おると おるが おるから おるなら おるとか おるでしょう おるし

1 1 1 2 2 1 2 }

おれば おるか おり おった おるんです おるんだ おるんだから おらん

2 2 1 1 2 2 2 1

おらない おるんでしょう おるんですから おるんですし おるんですが

1 2 2 2 2

おるんでした おるんですと おるんでして おるんですか おったり おったんです

2 2 2 2 1 2

おったろう

1

いる いると いるが いるから いるか いるとか いるでしょう いるし

1 1 1 2 2 1 1 1

いるんだ いるんです いるなら いるんでしょう いるんだから いれば

2 2 2 1 2 2

いるんです いるんですが いるんですから いるんですか いるんですと

2 2 2 2 2

いるんでして いるんでした いらん いらない

2 2 1 1

する すれば すると するが するから するなら するか するとか

1 2 1 1 2 2 2 1

するでしょう するし するんです するんだ するんだから するんでしょう

し し し し し し

するんですし するんですが するんですと するんですから するんですか

し し し し し

なる なると なるが なるから なるなら なるか なるとか なるでしょう

し し し し し し し し

なるし なるんだ なるんです なるんでしょう なるんだから なれば

し し し し し し

なるんですし なるんですが なるんですから なるんですか なるんですと

し し し し し

なるんでして なるんでした なって なった なったんです なったんなら

し し し し し し

なったから なったなら なったり なったろう ならん ならない

し し し し し し

よる よると よるが よるなら よるから よるか よるとか よるでしょう

し し し し し し し し

よらん よるし よるんだ よるんです よるんでしょう よるんだから よれば

し し し し し し し

よるんですし よらない よるんですが よるんですから よるんですか

し し し し し

よるんですと よるんでして よるんでした よって よった よったんです

㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

よったんなら よったから よったなら よったり よったろう

㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

やる やると やるが やれば やるなら やるから やるか やるとか

㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

やるでしょう やるし やるんだ やるんです やるんでしょう やるんだから

㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

やるんですし やるんですが やるんですから やるんですか やるんですと

㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

やるんでして やるんでした やって やった やったんです やったんなら

㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

やったから やったなら やったり やったろう やらん やらない

㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

くる くと くるが くれば くるなら くるから くるとか くるでしょう

㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

くるし くるんだ くるんです くるんでしょう くるんだから くるんですし

㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

くるんですが くるんですから くるんですか くるんですと くるんでして

㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

くるんでした

✓

なります ありますが なりますから なりません なりますとか なりましょう

ゝ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

なりますし なりますと なりまする なりまして なりますか なりますとも

㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

なりました

ゝ

よります よりますが よりますから よりません よりますとか よりましょう

㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

よりますし よりますと よりまする よりまして よりますか よりますとも

㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

よりました

ゝ

やります やりますが やりますから やりません やりますとか やりましょう






㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

やりますと やりますし やりまする やりまして やりました やりますとか

㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

やりますとも

㇏

※います ---     おります ---     やります ---     よります ---     なります --- 

等は、下段に独立した形であるが、前符号に連綴して書くことが多い。

しなければならぬ    しなければならない    しなければなりますまい    しなければなるまい

しなければならず    しなければならなく    しなければならなかった    しなければなりません

しなければなりません    しなければいかぬ    しなければいかない    しなければいかず

しなければいきますまい    しなければいかなく    しなければいかなかった

しなければいけません    しなければいけん    しなければいけない    しなければいけず

しなければいけなく    しなければいけなかった

せねばならぬ    せねばならない    せねばなりますまい    せねばなるまい    せねばならず

せねばならなく    せねばならなかった    せねばなりません    せねばなりません



せねばいかぬ せねばいかない せねばいかず せねばいきますまい せねばいかなく

—6 —6 —6 —6 —6

せねばいかなかった せねばいけません せねばいけん せねばいけない せねばいけず

—6 —6 —6 —6 —6

せねばいけなく せねばいけなかった

—6 —6

せなくちゃならぬ せなくちゃならない せなくちゃなりますまい せなくちゃなるまい

—6 —6 —6 —6

せなくちゃならず せなくちゃならなく せなくちゃならなかった

—6 —6 —6

せなくちゃなりません せなくちゃなりません せなくちゃいかぬ せなくちゃいかない

—6 —6 —6 —6

せなくちゃいかず せなくちゃいきますまい せなくちゃいかなく

—6 —6 —6

せなくちゃいかなかった せなくちゃいけません せなくちゃいけん

—6 —6 —6

せなくちゃいけない せなくちゃいけず せなくちゃいけなく せなくちゃいけなかった

—6 —6 —6 —6

しなくてはならぬ しなくてはならない しなくてはなりますまい しなくてはなるまい

—6 —6 —6 —6

しなくてはならず しなくてはならなく しなくてはならなかった

しなくてはならず しなくてはならなく しなくてはならなかった

しなくてはなりません しなくてはなりません しなくてはいかぬ しなくてはいかない

しなくてはなりません しなくてはなりません しなくてはいかぬ しなくてはいかない

しなくてはいかず しなくてはいきますまい しなくてはいかなく

しなくてはいかず しなくてはいきますまい しなくてはいかなく

しなくてはいかなかった しなくてはいけません しなくてはいけん

しなくてはいかなかった しなくてはいけません しなくてはいけん

しなくてはいけない しなくてはいけず しなくてはいけなく しなくてはいけなかった

しなくてはいけない しなくてはいけず しなくてはいけなく しなくてはいけなかった

しなくちゃならぬ しなくちゃならない しなくちゃなりますまい しなくちゃなるまい

しなくちゃならぬ しなくちゃならない しなくちゃなりますまい しなくちゃなるまい

しなくちゃならず しなくちゃならなく しなくちゃならなかった

しなくちゃならず しなくちゃならなく しなくちゃならなかった

しなくちゃなりません しなくちゃなりません しなくちゃいかぬ しなくちゃいかない

しなくちゃなりません しなくちゃなりません しなくちゃいかぬ しなくちゃいかない

しなくちゃいかず しなくちゃいきますまい しなくちゃいかなく

しなくちゃいかず しなくちゃいきますまい しなくちゃいかなく

しなくちゃいかなかった しなくちゃいけません しなくちゃいけん

しなくちゃいかなかった しなくちゃいけません しなくちゃいけん

しなくちやいけない しなくちやいけず しなくちやいけなく しなくちやいけなかった



せにやならぬ せにやならない せにやなりますまい せにやなるまい せにやならず



せにやならなく せにやならなかった せにやなりません せにやなりませず



せにやいかぬ せにやいかない せにやいかず せにやいきますまい せにやいかなく



せにやいかなかった せにやいけません せにやいけん せにやいけない せにやいけず



せにやいけなく せにやいけなかった



しなきやならぬ しなきやならない しなきやなりますまい しなきやなるまい



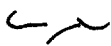
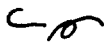
しなきやならず しなきやならなく しなきやならなかった しなきやなりません



しなきやなりませず しなきやいかぬ しなきやいかない しなきやいかず



しなきやいきますまい しなきやいかなく しなきやいかなかった しなきやいけません



しなきゃいけない しなきゃいけない しなきゃいけず しなきゃいけなく

しなきゃいけない しなきゃいけなく

しなきゃいけなかった

しなきゃいけなかった

せなけりやならぬ せなけりやならない せなけりやなりますまい せなけりやなるまい

せなけりやならぬ せなけりやならない せなけりやなりますまい せなけりやなるまい

せなけりやならず せなけりやならなく せなけりやならなかった

せなけりやならず せなけりやならなく せなけりやならなかった

せなけりやなりません せなけりやなりません せなけりやいかぬ せなけりやいかない

せなけりやなりません せなけりやなりません せなけりやいかぬ せなけりやいかない

せなけりやいかず せなけりやいきますまい せなけりやいかなく

せなけりやいかず せなけりやいきますまい せなけりやいかなく

せなけりやいかなかった せなけりやいけません せなけりやいけん

せなけりやいかなかった せなけりやいけません せなけりやいけん

せなけりやいけない せなけりやいけず せなけりやいけなく せなけりやいけなかった

せなけりやいけない せなけりやいけず せなけりやいけなく せなけりやいけなかった

せなければならぬ せなければならない せなければなりますまい せなければなるまい

せなければならぬ せなければならない せなければなりますまい せなければなるまい

せなければならず せなければならなく せなければならなかった

せなければならず せなければならなく せなければならなかった

せなければなりません せなければなりません せなければいかぬ せなければいけない



せなければいかず せなければいきますまい せなければいかなく



せなければいかなかった せなければいけません せなければいけん



せなければいけない せなければいけず せなければいけなく せなければいけなかった



せなくてはならぬ せなくてはならない せなくてはなりますまい せなくてはなるまい



せなくてはならず せなくてはならなく せなくてはならなかった



せなくてはなりません せなくてはなりません せなくてはいかぬ せなくてはいけない



せなくてはいかず せなくてはいきますまい せなくてはいかなく



せなくてはいかなかった せなくてはいけません せなくてはいけん



せなくてはいけない せなくてはいけず せなくてはいけなく せなくてはいけなかった



申す等

申す 申しません 申します 申しました 申さない 申しまして



申すまでもなく 申すまでもない 申すまでもありません 申すまでもございません



申すまでもなからう

申し述べ



申し上げ等

申し上げる

申し上げません

申し上げます



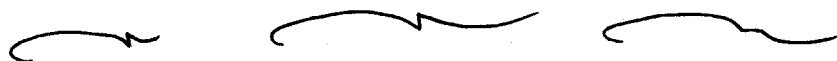
申し上げました

申し上げない

申し上げるまでもない



申し上げるまでもなく 申し上げるまでもありません 申し上げるまでもございません



申し上げるまでもなからう

申し上げて



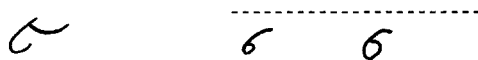
言うまでもない 言うまでもなく 言うまでもありません 言うまでもございません



言うまでもなからう

言わん

言わない



特定マス・ノデアリマス

～と思います

～と思う

～と思うのであります

ものであります

おるのであります

いるのであります

～かと存じます

ノデ省略

あるのであります

したいので

デハ省略

ものではない

ことではなく

そうではなかった

ナイ省略

夢でない

使用しない

考えていない

機会を得ない

風じゃない

こない

## 15. 指示代名詞

この	その	あの	どの
こ	そ	あ	ど

こういう	そういう	ああいう	どういう
こ	そ	あ	ど

こんな	そんな	あんな	どんな
こ	そ	あ	ど

これは	それは	これら	それら
こ	そ	こ	そ

こういった	そういった	ああった	どういった
こ	そ	あ	ど

このように	このような	こういったことは
こ	そ	こ



## 16. 常用語

～という、～のような

ものという

ことという

ことのように

ことのような

～して、じて、な

シテの後に来る助詞は基本文字を最小線にする。

保持して

学生として

基本としての

意見としては

国としても

～ついて、おいて

ものについて

ものにつきまして

ものにおいて

ものにおきまして

ものにおける

～的

社会的

科学的

国際的

～主義

社会主義

民主主義

大国主義

～の間

この間

～というような、というように

あるというような

あるというように

うる、える、その他

うる

消える

消える

やはり (ヤリを最小線で書く)

やはり

そこで

そこで

続いて

続いて

後に続いて

後に続いて

〇ッテ

当たって

当たって

至って

至って

変わって

変わって

〇ッタ

当たった

当たった

至った

至った

変わった

変わった

〇ロウ

あろう

あろう

だろう

だろう

あるだろう

あるだろう

そうではなからう

そうではなからう

に對す

に對し・す

に對し・す

に對して

に對して

に對する

に對する

に對しまして

に對しまして

に對しては

に對しては

に對しての

に對しての

に對しましては

に對しましては

に對しましての

に對しましての

に對しましても

に對しましても

に關す

に關し・す

に關し・す

に關して

に關して

に關する

に關する

に關しまして

に關しまして

に關しました

に關しました

に關しましては

に關しましては

に關しましての

に關しましての

に關しましても

に關しましても

に關します

に關します

に関しまする に関した

-----  
~~~~~

に当たり

に当たり に当たる に当たって に当たった に当たりまして

-----  
~~~~~

に当たりました

-----  
~~~~~

にわたり にわたる にわたって にわたった にわたりまして にわたりました

-----  
~~~~~

に向かい

に向かい に向かう に向かって に向かった に向かいまして

-----  
~~~~~

に向かいました

-----  
~~~~~

による

により による によって によった によりまして によりました

-----  
~~~~~

ばかり

～ばかり はかりまして おばかり はからん はからない はかった

-----  
~~~~~

はかって      はかったら      はかろう      はかったろう      はからずも  
-----)      -----)      -----)      -----)      丿

ばかりして      はかりました  
-----)      -----)

○や否や

イナを最小線で書く

あるや否や

丿

## 17. 上段

中心線の上の位置を上段、下の位置を下段という。上段には漢字の訓読を表記する。これを訓音換記法という。

一般上段と特殊上段に分ける。

一般上段は訓音換記したものを言う。

特殊上段は摘記したものを言うが、実際には中段に書いても誤訳することはない。

### 一般上段と特殊上段との相違

	新しい	
一般上段	シンシイ	ℓ
特殊上段	アシイ	ℓ

### 【文例】

私はこれから速記についてお話をいたしたいと思うのであります。

上段  
中心線  
下段

新しい	新しき	新しく	新たな	新たに	あえて	あたかも
ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ

あくまで	あるいは	あながち	併せて	明らか	あらわす
ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ

あらわれる	改める	誤る	暁	争う	鮮やか	集める
ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ

暖かい	あらゆる	与える・あらかじめ	改めん	いたずら	いたす
ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ

営む	戒める	著しい	著しき	著しく	いまだ	今	今に
ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ

いよいよ    いらっしゃる    いらっしゃって    いらっしゃった    いわゆる

ノ    ム    フ    ン    ン

いやしくも    言わば    いえども    戒めん    美しい    美しき    美しき

ノ    6    一    5    2    一    一

承る    承った    承って    承りたい    うわさ    憂える    麗しい

ノ    ノ    ノ    6    一    6    9

云々    疑う    映る    いささか    伺いたい    承らん    潤う

ノ    /    6    6    4    ノ    6

伺う    失う    促す    及び    及ぶ    同じ    同じゅう    納める

ノ    6    7    一    一    一    一    一

お認め    陥る    行う    行わん    及ばん    訪れる    恐れ

6    6    一    一    7    7    一

終わる    お話    おもんばかり    補う    恐ろしい    恐ろしき

7    7    7    7    6    7

恐ろしく    起きる    およそ    おおよそ    恐らく    おっしゃる

一    一    7    7    一    一

おっしゃって    おっしゃった    覚え書き    おもしろい    おもしろき

一    一    7    7    一

おもしろく    おのずから    お答え    驚く    おびたしい

一    7    一    7    6

おびただしき      おびただしく      重ねて      悲しい      悲しき      悲しく

考える      考えん      かんがみる      必ず      傾ける      形      極めて

築く      加える      比べる      国      けだし      こんにち      試みる

試みるに      転がる      先ほど      先ほども      妨げる      差し支えない

差し支えなく      さかのぼる      諸君      十分      すなわち      ずっと

既に      鋭い      随分      備える      育てる      直ちに      大体

たちまち      楽しむ      進んで      すべて      すこぶる      ぜひと

そっと      例え      例えば      ただいま      蓄える      ちょっと      ちょっとの

ちょっとは      ちっとも      力      力強い      力強く      次      常に

つまり・つもり      努める      伴う      隣      調える      尊い      唱える

なお	並びに	なるほど	怠ける	にわかに	場合	払う
一	ㄣ	一	ㄠ	ㄣ	)	ㄠ

支払う	離れる	話	始め	果たす	果たして	はたまた
ㄣ	ノ	ノ	ㄣ	一	一	ㄣ

甚だ	翻る	ひょっと	等しい	等しき	等しく	人
ㄣ	ㄣ	ノ	ㄠ	ㄠ	ㄠ	ノ

一人	人当たり	再び	減ぼす	朗らか	ほとんど	ほとんども
ㄠ	ㄠ	ㄣ	ㄠ	ㄣ	ㄣ	ㄣ

ほとんどが	免れる	奉る	まさに	また	貧しい	みずから
ㄣ	ㄠ	ㄣ	ㄣ	ㄠ	ㄣ	ㄠ

乱れる	皆さん	民主	短い	導く	認める	昔・むね
ㄣ	ㄠ	ㄠ	ㄠ	ㄠ	ㄠ	ㄠ

むしろ	もっと	もたらす	もはや	用いる	もし	もしも
ㄠ	ㄠ	ㄠ	ㄠ	ㄠ	ㄠ	ㄠ

もちろん	求める	求めん	やっと	安い	喜ぶ	養う
ㄠ	ㄣ	ㄣ	ㄠ	ㄠ	ノ	ノ

柔らかい	豊か	ゆえん	ゆえに	許す	喜ばん	煩う
ㄠ	ㄣ	ㄠ	ㄠ	ノ	ノ	ㄣ

煩わしい	忘れる	私
ㄠ	ㄣ	ノ

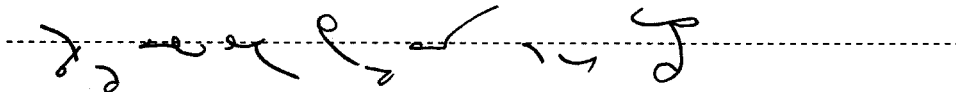


## 18. 下段

下段はラ行省略と下段略字に使用する。上段略字に下段略字が続く場合には続けて書くこともある。

### 【文例】

速記はさらに各人の日常生活に活用をされなければならぬと考えております。



### 1. ラ行省略

ころ・これ から・かり・かれ さる・され ざる・ざれ それ



たれ・たり・たる だり・だれ とり・とる・とれ どり・どる・どれ



なり・な・なれ みる・みれ うり・うる やり・やる ゆり よる



られ るる れる あり・あれ おり・おれ さらに これは



これら それら かれら われら いわれ



### 2. 下段略字

です・あたわず にもかかわらず にもかかわりませず でした でした



できる・でしょう・まで ます・します まする・しまする ました・しました



ましょう・しましよう    ましたる・しましたる    ません・しません    のみならず

ゝ    へ    ー    ー

できまする    ながら・しながら    とうり    など    とき    くる・ぐらい

ゝ    ー    へ    へ    /    /

だけ    ところ    ため    べからず    まして・しめ    しめる・せしめる

/    /    、    へ    ー    へ

しむ・せしむ    しむる・せしむる    しかし    しかるに    かししながら

ー    へ    へ    へ    へ

しからば    しかも    しかして    しこうして    しかり・しかる    ざるを得ん

へ    へ    へ    へ    へ    へ

ざるを得ない    ざるを得ません    かもしれん    かしけない    かもしれません

へ    へ    へ    へ    へ

かもわからん    かもわからない    かもわかりません    できるだけ    これだけ

へ    へ    へ    へ    へ

あれだけ    それだけ    どれだけ    これだけ

へ    へ    へ    へ

## 19. 接触動詞

助詞の「ヲ」を利用する。

意見を承る



意見を承りたい



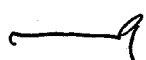
東京を中心に



会議をひらく



心を引きつける



考えを直す



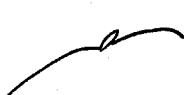
政治を行う



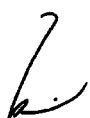
ものを尋ねる



意見を求める



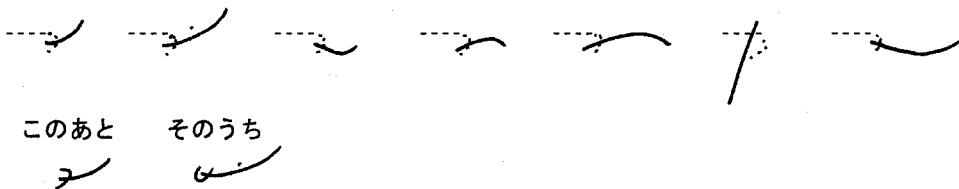
教育を受ける



## 20. 語尾利用法

### 1. 助詞の「ノ」に交差する。

あと    うち    なか    まと    もと    結果    のち

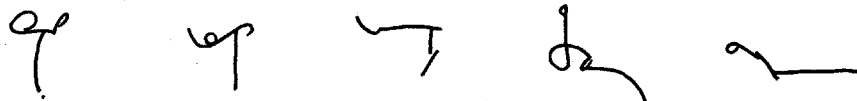


### 2. 前字の尾部に接触する。

代表    主張    闘争    中心    備える    行動

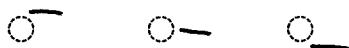


会を代表して    自分の主張    自己中心的    天災に備える    単独行動



### 3. 解決、方、側・川

解決    方    側



問題の解決    考え方    北側



### 4. ~どうか



あるかどうか

いるかどうか

あ or ㇏

い or ㇏

5. その他

生活

-----

制度

-----

政策

-----

計画

-----

対策

-----

条約

-----

福祉

-----

提案

-----

提出

-----

社会生活

社会制度

基本計画

安全対策

社会福祉

## 21. オッオイ

詰音を利用してイを省略する。

一体

ㄣ

一切

ㄣ

決定

ㄣ

絶対

ㄣ

北海道

ㄣ

国会

→ ㄣ

でっかい

ㄣ

ちょっかい

ㄣ

※詰音を省略する方法で書いても構わない。

一体

ㄣ → ㄣ

一切

ㄣ → ㄣ

決定

ㄣ → ㄣ

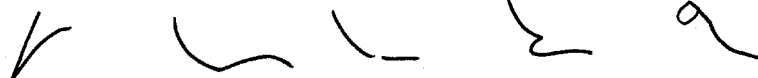
## 22. エ列イ音省略

エ列のイの大円を省略する。

エイ      ケイ      セイ      テイ      ネイ      ヘイ      メイ      レイ

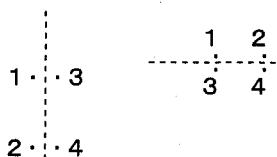


経営      生命      生活      成功      体制



## 23. 加點法

速記文字そのものの位置に加點し、ラレ、スル、マシタ、マシテの省略をする。語尾の変化は加點の位置に最小線を活用する。



1……られ、かれ、され、たれ、なれ、はれ、ばれ、まれ、やれ、られ

2……する、ずる

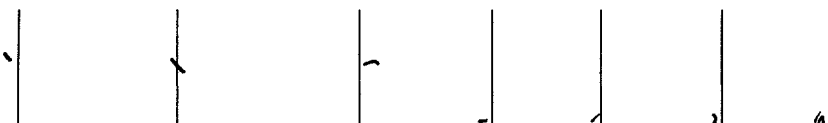
3……まして、しまして

4……ました、しました

する せられ せられまして すること しました しまして



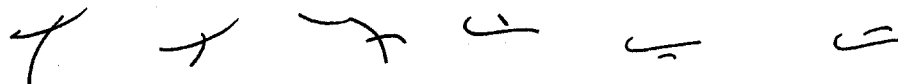
られた られなかった しましても するが すると すれば するとともに



するとも しましたが しましては せられました



行われる おられる 望まれる 考えられた 考えまして 考えられます



研究される





## 24. 四字詰音一線化

○ッ○ラ行

1 音目……基本文字

2 音目

3 音目

4 音目

頭部加点で省略

書くときには点を先に書く。

あっさり      がっちり      うっかり      こっそり      さっぱり      しっかり

・ — — — — —

すっきり・すっきり      そっくり      てっきり      のっこり・のっそり      はっきり

・ — — — — —

びっくり      にっこり      やっぱり      ゆっくり      もっぱら      きっぱり

( — — — — —

彼の言うことはさっぱりわからない。

てっきり冗談だと思っていた。

———

## 25. ウ・ス・ヌ・ム・ル省略

2音目、3音目以降のウ・ス・ヌ・ム・ルを省略する。

2音目

ウ……大カギ内加点

ス……頭部加点

ヌ……負側頭部加点

ム……正側頭部加点

ル……大楕円逆記

3音目

大カギ内加点

尾部接触

尾部空間

尾部交差

ツノ出し

もらう

知らぬ

※知らん

ダム

事務所

会計事務所

頼む

入り込む

カルチャー

語る

つくる

いす

テスト

コスト

コスモス

ピストル

コース

テニス

犬

地主

手ぬぐい

カム

車

昼間

マルクス

春

## 26. 最大線

基本文字の短線と長線を長線の1.5～2倍の長さで書く方法。

文例で明らかのように、言葉の中には初めの1字がはっきりしておれば次の字は口でも文意文勢によつて間違いなく正確に判読できるものがたくさんあるが、こういう判読に差し支えない言葉の最初の1音を最大線にして、後の字は省略する。

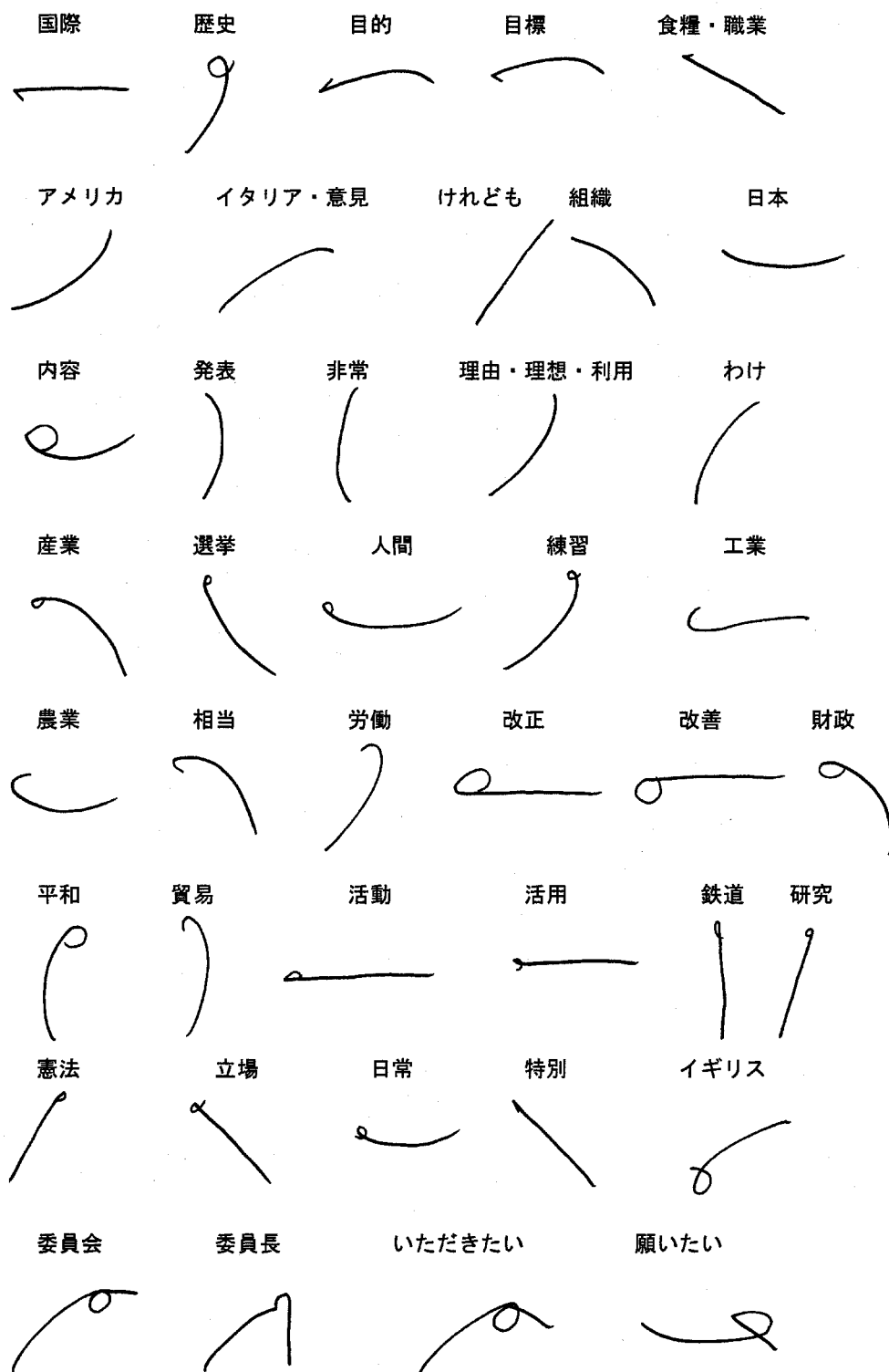
### 【文例】

速記の研口は時口の要口であり、これを日口生口に活口することは文口人の常識であるとお口のであります。

(速記の研究は時代の要求であり、これを日常生活に活用することは文化人の常識であると思うのであります。)



こと	もの	説明・したい	部分	文化	文明
予算・やむを得ない	やむを得ざる	やむを得ず	ややもすると		
演説・インフレ	インフレーション	ご演説	関係		
問題	要求	ヨーロッパ	教育	経済	
政府	質問	ご質問	ご説明	国民	



もらいたい



おきたい



現在



現代



漁業



態度



公務員



スローガン



存ずる



## 27. 符省法

長音、拗音、インツクキの音をあらわす本来の符号を省いて接触、交差、空間によって書く方法。

両大円省略 ○イ○イ……中部交差

生命	例外	体裁	再会	幸い	開催	閉会
俳諧	体制	制定	衛生	境内	海水	掲載

携帯 界限

両小円省略 ○ン○ン……中部空間

新聞	玄関	専門	簡単	専門	本年	懇談
敏感	人民	感電	見聞	肝心	先見	番人
賃金	転換					

両大力ギ省略 ○ウ○ウ……中部接触

航空	交通	要望	通行	流行	東京	了承
高等	教養	状況	有望	重要	横行	通常
効用	構想	高級				

## 28. 交差・平行法

成句などで特に頻度の高い言葉の頭音を交差または平行に書く方法。

内閣総理大臣

文部科学大臣

労働組合

資本の自由化

満場一致

権利義務

機会均等

公共事業

一致団結

都道府県

特別会計

協力一致

外務大臣

団体交渉

後継内閣

賛成意見

日本経済

日米安全保障条約

金融機関

公共事業

## 29. 節音法

訓読みの言葉で、2つ以上の節音からできているものを節音語という。この2つの節音字を結ぶときに中間小カギを使う。

中間小カギ法とも言う。

### 【文例】

近ごろ、パソコンの普及によって我が国の速記界が衰退していることは非常に残念でならない。もっといろいろな方面で速記の活用方法があると思う。

— 2 —

有様	ただいま	皆様	方々	受付	切りかえ	今さら
ハ	✓	マ	ニ	フ	カ	サ

受け入れ	繰り上げ	※組合	繰り下げ	出し抜く	近ごろ
フ	ハ	カク	ハ	ハ	ハ

できるだけ	できうる限り	世の中	我が国	とにかく	※ともかく
ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ

貸しつけ	いかなる	遺憾ながら	今ごろ	株主	繰り込む
フ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ

引き上げ	※引き当て	引き下げ	取り締まり	※取り調べ
ハ	ハ	ハ	ハ	ハ

なきにしもあらず	卸売り	駆け引き	できる限り
ハ	ハ	ハ	ハ



## 30. 冠上法

前符号に後符号をかぶせる。

ウン・ジョーの省略

国会の運営

小樽運河

人の運命

政治運動

健康状態

国際情勢

そういう状況の中において

健康状態は極めてよい。

国際情勢は不安定である。

# 31. 抄下法

前符号からすくう。

トウ・ドウ・ショ・ジョの省略。

個人所得

国内の諸問題

仮処分

助成金

同意

答弁

個人所得

国内の諸問題

仮処分

助成金

同意

答弁

考え方に同意する

大臣の答弁

考え方に同意する

大臣の答弁

私はあなたの考え方に同意できない。

大臣の答弁には同意できない。

私はあなたの考え方に同意できない。

大臣の答弁には同意できない。

## 32. ヒモカギ法

非常に長い文節の言葉を省略する方法で、主として頻度の高い慣用語句の省略に用いる。  
紐を結ぶように書くので「紐書き法」あるいは「連結法」ともいう。

一日も早く    一日も早い    一所懸命    イデオロギー    エネルギー



モータリゼーション



イニシアチブ



ベースアップ



プログラム



一部を改正する



### 33. 極大線

最大線の2倍から3倍の長さで書く。下記のものに限定して使用する。

ご承知のとおり

\_\_\_\_\_

ご承知のように

\_\_\_\_\_

ご承知のような

\_\_\_\_\_

ご承知のごとく

\_\_\_\_\_

ご承知のごとき

\_\_\_\_\_

ご存じのとおり

\_\_\_\_\_

ご存じのように

\_\_\_\_\_

ご存じのような

\_\_\_\_\_

ご存じのごとく

\_\_\_\_\_

ご存じのごとき



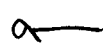







\_\_\_\_\_

## 34. 漢音省略

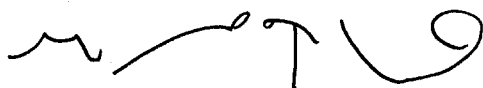
インツクキ法と符省法を応用した書き方である。

原則

- 1 音目……そのまま
- 2 音目……インツチクキウの符号
- 3 音目……そのまま
- 4 音目……符省法の応用
  - イ……中部交差
  - ン……中部空間
  - ウ……中部接触

会員	見解	対抗	尊重	進行	活用	国際
						
国有	突然	日常				
						

あなたの意見を尊重したいと思います。



## 35. 同音平行法

頭音が同じ場合に使用する。

アジア・アフリカ    いろいろ    繰り返し繰り返し    共存共栄    これこれ

ㄥ

ㄥ

ㄥ

ㄥ

ㄥ

さまざま

ㄥ

しばしば

ㄥ

それぞれ

ㄥ

大体・たまたま

ㄥ

なかなか

ㄥ

人々

ㄥ

一人一人

ㄥ

またまた

ㄥ

もともと

ㄥ

好むと好まざるとにかかわらず

ㄥ

好むと好まざるとにかかわりませず

ㄥ

## 36. 加点インツクキ法

4音からなる音読熟語を位置と符号によって省略する方法で、第1音目は基本文字で書き、第2音目は位置であらわし、第3音目を省略して、第4音目はその音をあらわす符号を用いて、書くときは符号から先に書く。

### 1. 原則

1音目……そのまま

2音目……加点位置

3音目……省略

4音目……加点符号

### 2. 加点位置

イ・ン  
ツチ・クキ

イ ツチ  
ン クキ

### 3. 加点符号

イ      ニ      ン      ャ

ツ・チ      ク・キ      ャ

今回      最近      困難      簡単      改正      完成      認識      安心

関係      生産      大体      経済      石炭

## 37. 後句省略法

衆議院は衆議院で

Go

井の中の蛙大海を知らず

~

明けても暮れても

7

よきも悪しきも

P



## 38. 数詞

10位

10

✓

20

2✓

30

3✓

40

4✓

100位

100

←

200

2

300

3

400

4

305

3 5

1000位

1000

✓

2000

2

3000

3

4000

4

1500

15

万

✓

10万

✓

100万

✓

1000万

✓

億

✓

10億

✓

100億

←

1000億

✓

10億500万

✓

3900万

39

57万

57

$\frac{1}{2}$

2

$\frac{3}{5}$

5

$\frac{5}{100}$

2

3%

3

100%

✓

2ないし3

2 3

明治15年10月28日

15 28

大正3年5月10日

3 5

昭和26年1月12日

26 1 12

平成5年5月2日

5 5 2

午前10時30分

✓

午後10時5分

✓

2割3分5厘

2 3 5

2、3割

2

2割5分

2 5

7、8、9の3カ月

第1、2、3、4の

第7、8点

$\frac{7}{3}$

$\frac{1}{3}$

$\frac{7}{9}$